

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公開番号】特開2010-264741 (P2010-264741A)

【公開日】平成22年11月25日 (2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2009-149153 (P2009-149153)

【国際特許分類】

B 3 1 B 3/14 (2006.01)

B 2 6 D 3/08 (2006.01)

B 2 6 F 1/18 (2006.01)

B 6 5 D 5/54 (2006.01)

【F I】

B 3 1 B 3/20

B 2 6 D 3/08

B 2 6 F 1/18

B 6 5 D 5/54 3 0 1 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月9日 (2012.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉤刃の 2 辺の内 1 辺のみに刃を設けたことを特徴とする段ボールのジッパを形成する鉤刃。

【請求項 2】

ジッパの進行方向と平行でない辺に刃を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の鉤刃。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の鉤刃を使用してジッパを形成したことを特徴とする段ボール。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の鉤刃を使用したことを特徴とする段ボールのジッパを形成する装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

上記課題を解決するために、次の構成を設けた。

鉤刃の 2 辺の内 1 辺のみに刃を設けた段ボールのジッパを形成する鉤刃である。

ジッパの進行方向と平行でない辺に刃を設けた鉤刃である。

前記鉤刃を使用してジッパを形成した段ボールである。

前記鉤刃を使用した段ボールのジッパを形成する装置である。